



平成29年度高知県芸術祭助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2017」

# 奈半利・古民家 Art & Live

高知県東部の中芸地域に位置し、町制100年の歴史ある奈半利町を舞台に15日間のまちあるきイベントを開催いたします。登録有形文化財である古民家や藤村製絲記念館をめぐるアート体験と、ライブコンサートをお楽しみいただけます。



駅前モニュメント

## 古民家Art：都築房子展

2017年9月10日(日)～9月24日(日) 午前10時～午後4時

会場：藤村製絲・森家住宅・高田屋・なはりの郷（全て入場無料）

「花をつくるワークショップ」なはりの郷で毎週日曜日に開催します

（参加料）  
500円

2009年に当時、近代化産業遺産として残されていた藤村製絲工場で個展を開催してはや8年、工場は一部を記念館として残す形となり、時の流れを感じずにはいられません。今回は、その記念館を含む4つの会場に分けて、様々な作品を見ていただける展示です（奈半利駅前にモニュメントも設置しております）。奈半利の歴史や人々の思いを感じながら、過去・現在・未来へと続く時の流れの中で作品を楽しんでいただけたらありがたいと思います。



花



松居孝行 & 宇高靖人

## 古民家Live: gentle コンサート

2017年9月23日(土) 開場13時・開演14時

会場：濱田邸（駐車場あり） 入場料（チケット）：1,500円

歴史の息吹を感じられる濱田邸。クラシックギターと二胡の演奏が古民家の空気を響かせ、時空を超えたライブとなります。

※チケットは9月1日(金)より、なはり浦の会  
090-1570-2225にて予約を受け付けます。  
先着40枚となりますので、完売の際はご了承ください。



濱田邸

【主催】なはり浦の会 【連絡先】090-1570-2225（森）

【協賛】奈半利町・一般社団法人なはりの郷・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

# 古民家Art：都築房子展会場と作品



藤村製絲記念館



森家住宅(旧野村茂久馬邸)



※藤村製絲記念館  
と奈半利駅前に  
駐車可能です



高田屋



なはりの郷



奈半利町を含む中芸地域5町村の、歴史と景観と食文化を紡ぐストーリー「森林鉄道から日本一のゆずロードへ－ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化－」が日本遺産として文化庁に認定されました。

(2017年4月)



やなせ  
魚梁瀬森林鉄道

中芸は、かつては林業で栄え、大木を伐る掛け声が響く地であった。古くは弘法大師の時代から伐り出され、豊臣秀吉が洛陽東山佛光寺の大仏殿の建材に用いた銘木・魚梁瀬杉をはじめ、多くの木材を産出し、安田川・奈半利川に流して河口へ、そして海から日本全国へと送り出してきた。

明治末から敷設がはじまり、隧道や橋梁により中芸一帯を環状に繋いだ魚梁瀬森林鉄道、通称「りんてつ」は、木材の搬出だけでなく、トロッコで学校に通い、トロッコでお嫁入りなど人の暮らしを繋ぎ交流を生んだ。原生的杉林景観の残る千本山、材木業や回船業で名を馳せた豪商の屋敷が軒を連ねる町並みとともに中芸にちりばめられた18ヶ所におよぶ「りんてつ」の遺構群は、林業の隆盛とこの地の繁栄を象徴している。

## 奈半利の歴史

奈半利町は古くから野根山街道の起点として、また紀貫之の「土佐日記」に那波の泊として登場するように陸・海の交通の重要な地点でした。山内一豊が土佐入国際にも、野根山街道を経て奈半利で宿泊しました。

産業としては、上流の木材を奈半利川から搬出し集散地となっていて、奈半利貯木場と魚梁瀬森林鉄道奈半利川線が完成してから更に発展しました。樟腦などの林産物や、捕鯨・製糸業が起これり栄えました。

特に明治以降に人材を輩出し、高知県の産業近代化にも貢献しました。今ある奈半利町の伝統的建造物の多くはこの時期に建てられたものです。